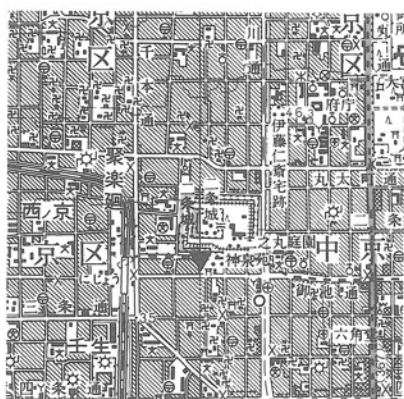


京都・平安京跡左京三条一坊十町
へいあんきょう



(京都西北部、京都東北部)

一坊十町に位置し、八町を占地する神泉苑のほぼ中央にあたる。掘削工事に先立ち地盤改良が施されていたため、大半の地点で遺構の確認、層序の確認などは不可能であった。部分的に確認できた断面観察では地表下九〇～一三〇cmのあいだに湿地状を呈するシルト層が認められた。出土遺物では土器類の出土

- 1 所在地 京都市中京区西ノ京職司町
- 2 調査期間 二〇〇〇年(平12)一〇月
- 3 発掘機関 (財)京都市埋蔵文化財研究所
- 4 調査担当者 菅田 薫・吉本健吾
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 平安時代カ
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

マンション建設に伴う立会調査である。調査地は平安京左京三条

はなく、木簡一点を採集している。

8 木簡の积文・内容

(1)



(59)×20×3 081

木簡の形状は、上方の左右に切り込みを入れた形態の可能性があるが、折損しており〇八一型式とした。表に三文字程度の墨痕が認められ、裏面には墨痕は認められない。

9 関係文献

京都市文化市民局『京都市内遺跡立会調査概報 平成十二年度』
(二〇〇一年) (菅田 薫)

